

平成17年12月期

第3四半期業績の概況(連結)

平成17年11月15日

上場会社名 大和冷機工業株式会社 (コード番号:6459 東大各第一部)  
(URL <http://www.drk.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 尾崎 敦史  
問合せ先責任者 役職名 経理部 経理部長 氏名 那須 元彰 TEL(06)6767-8171

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無  
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無  
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

## 2. 平成17年12月期第3四半期の業績の概況(平成17年1月1日~平成17年9月30日)

## (1) 連結売上高

(百万円未満切捨)

	百万円	%
17年12月第3四半期	26,100	54.3
16年12月第3四半期	16,920	-

(注) パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。なお、16年12月第3四半期については、前年同期として比較できる数値がないため比率は算出しておりません。

## [連結売上高に関する補足説明]

当第3四半期におけるわが国経済は、各種構造調整圧力の後退などを背景として景気は底堅さを増す状況にあります。個人消費の強めの伸びに一服感が出ている事、資源価格の高騰などにより企業マインドには慎重さが残っている状態です。

このような中で、当社グループは常に、「お客様とともに」を目指し地域密着型の直販体制を推進するとともに、サービス体制の充実を図り顧客ニーズを迅速かつ的確に捉えるように取り組みました。また、需要の創造・拡大を図る為、環境や衛生問題に対応した製品や高鮮度管理製品の開発・実用によりお客様に喜んでまいりました。

この結果、第3四半期における連結売上高は26,100百万円となりました。

## (2) 当第3四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当期より他社リース会社の活用を再開しました。これに伴い、今期の関係会社との売上高及び未実現利益の消去が減少し、他社への売上高及び利益が増加しました。これらの結果、前年比で増収となりました。なお、関係会社に過去販売した製商品にかかる未実現利益は今後も実現していくこととなります。

## 3. 平成17年12月期の連結業績予想(平成17年1月1日~平成17年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
通 期	36,800	6,200	4,400	85	35

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。